

令和6年10月～12月 地域懇談会でのひきこもり支援に係る意見抜粋

6 ひきこもり支援関連

(1)問題の潜在化、本人の支援拒否に伴う支援へのつながりにくさ

本人が「ひきこもりでも孤立でもよい」と思っていたら、支援はできない。

インターネットが充実しているため、一人で完結できてしまう。外に出たくない人など、支援したくても支援につなげられない人がある。

ひきこもりの人は、インターネットの世界で完結してしまう。自殺願望がある点が、対応に苦慮する。

手帳未所持、介護保険適用外の子どもの家を隠している。

潜在化している、ひきこもりの家族を相談支援につなげる方法

ひきこもりの相談になかなかつなげられない。「恥ずかしいこと」だと思って、隠したがる。

(2)世帯全体への支援が必要

ひきこもりの子どもと、精神障がい疑いのある親の世帯→世帯を取り仕切るコーディネーターが必要

小学6年生からひきこもり、現在中学2年生。月1回、支援場所に来てほしいが、なかなか来られない。母は精神疾患があり、本人だけでなく母も含めた世帯全体を支援する必要がある。支援団体だけでは力不足のため、一緒に入ってくれる機関がほしい。

ひきこもりのいる家族から相談をうけたが、解決には至らなかった。まずは親側の介護サービスだけ入れる」などの関わりを持っている場合もある。

ひきこもりの相談は、家族から相談されることが多い。家族から声があがると、支援する側は入りやすい。

支援をしている高齢者の子ども(50代くらい)がひきこもり、障がいあり。

(3)支援者の理解の輪

ひきこもりの支援方法がわからない。

少しずつほぐしていくことが必要

親の病気をきっかけに、ひきこもりを脱したいと思う人が多い(特に40～50代)。



実施日時・場所（開催順）		参加者数
①	竹の塚地域学習センター 令和6年10月5日（土曜）午前10時～正午	7人
②	栗島住区センター 令和6年10月16日（水曜）午後6時30分～8時30分	7人
③	舎人住区センター 令和6年10月30日（水曜）午後7時～9時	6人
④	西新井住区センター 令和6年10月31日（木曜）午後7時～9時	6人
⑤	東和住区センター 令和6年11月20日（水曜）午後7時～9時	11人
⑥	鹿浜地域学習センター 令和6年11月21日（木曜）午後7時～9時	11人
⑦	佐野地域学習センター 令和6年11月24日（日曜）午前10時～正午	6人
⑧	生涯学習センター 令和6年12月1日（日曜）午前10時～正午	14人
⑨	江北地域学習センター 令和6年12月7日（土曜）午前10時～正午	7人
⑩	花畑地域学習センター 令和6年12月11日（水曜）午後7時～9時	6人
計		81人